

ガザ死者3万人超え

今世紀紛争最速ペースか

【エルサレム＝共同】パレスチナ自治区ガザの保健当局は29日、昨年10月に始まったイスラエル軍とイスラム組織ハマスの戦闘によるガザ地区の死者が3万人を超えたと発表した。民間人の犠牲や人道危機が拡大し、国際社会の停戦圧力は強まるが、軍は攻勢を強める構えだ。避難民ら150万人が密集するガザ最南部ラファにも地上侵攻する方針で、一層の被害が懸念される。

物資待つ70人死亡

ガザ保健当局によると、死者は過去24時間で81人増え、戦闘開始以降で計3万人になった。国際非政府組織(NGO)オックスファムは1月、21世紀に起きた紛争の中で最も速いペースで一口当たりの死者が増えていると懸念している。



28日、パレスチナ自治区ガザ中部デールバラハで、イスラエル軍による攻撃現場の捜索救助活動を行う地元住民ら＝ゲッティ・共同

イスラエル軍は2月29日もガザで戦闘を継続。ガザ当局は、北部ガザ市でイスラエル軍の砲撃があり、支援物資の到着を待つ住民少なくとも70人が死亡、250人が負傷したと発表した。

ガザ保健当局によると、

28日にはガザ北部の2病院で子ども計6人が脱水症状や栄養失調で死亡。27日にも幼児2人が同様に犠牲になり、避難生活の中で亡くなる関連死が増える可能性がある。保健当局は子どもや妊婦に飢餓が拡大、数千人が死んでする恐れがあるとして緊急支援を求めている。

ガザでは、イスラエルの

日のハマスによるイスラエル奇襲から始まり、軍は同月下旬に地上侵攻を始めた。ガザの死者は昨年11月6日に1万人、昨年12月20日に2万人を上回った。イスラエル側でも約1200人が死亡し、侵攻後の兵士の戦死者は240人以上。ハマスが拘束する人質は遺体も含め約130人とされる。

封鎖で水や食料が極度に不足。イスラエルと米国、エジプト、カタールは先週、40日間の休戦案に大筋合意したが、イスラエルとハマスはいずれも早期の合意実現に慎重だ。

今回の戦闘は昨年10月7

日のハマスによるイスラエル奇襲から始まり、軍は同月下旬に地上侵攻を始めた。ガザの死者は昨年11月6日に1万人、昨年12月20日に2万人を上回った。イスラエル側でも約1200人が死亡し、侵攻後の兵士の戦死者は240人以上。ハマスが拘束する人質は遺体も含め約130人とされる。